



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/9/12 №18

八地申5号

9/8 提出

現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた

甲府統括センター設置について解明申し入れ提出！

2022年6月22日、支社から「現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた甲府統括センターの設置について」提案を受けました。しかしこれまで、現場社員からは丁寧な意識づけもないまま勤務指定・変更による除草や駅構内での案内業務、警備等の業務を担うなど、直前の勤務通告になり、必ずしも施策への納得感が得られているとは言えず、成長意欲・チャレンジを具現化できるフレキシブルな組織として活躍のフィールドが広がられているのか疑問と不安の声が後を絶ちません。また猛暑とコロナ禍におけるなか安全で安定した輸送を支えるためには「主たる業務」を明確にした作業環境と要員の配置が重要な課題でもあります。鉄道事業の最大の根幹である安全な職場を構築し、社員が描くキャリアプランに近づけモチベーションを保つことも成長的発展につながる要素でもあります。八王子地本は、組合員が安心感や納得感をもって施策に向き合い、魅力あるJR東日本会社・グループ会社を構築し、働きがいと保てるように下記の通り申し入れました。

1. 3月12日に営業統括センターが発足して間もないなか、今施策を実施する目的と根拠を明らかにすること。
2. 『それぞれの組織（職場）の規模が小さいエリアを中心に融合』としている根拠と規模感と、融合並びに兼務・連携の際の指揮命令系統はどのようにおこなうのかを明らかにすること。
3. 『駅業務と乗務業務をはじめ業務の融合を進める』としているが、具体的に融合する業務は何かを明らかにすること。
4. 業務の融合を推進していく際、社員への必要な教育訓練について考えと今後の教育スケジュールを明らかにすること。また車掌と運転士指導業務が融合する指導ユニットでは車掌担当も運転士の指導を担当するのか明らかにすること。
5. 統括センターの設置場所と乗務員区社員の職名に対する考え方ならびにリスク管理、体制を示すこと。また甲府運輸区で在籍する事務社員の今後の運用について明らかにすること。
6. ワーキンググループを設置するが、現場の声をどのように把握していくのか明らかにすること。
7. 統括センター発足後の乗務業務等に従事する社員の、労働時間管理に関する考え方と、ダイヤ改正時における提案の示し方を明らかにすること。
8. 乗務員の運転士車掌の相互運用に至った根拠と社員運用、並びに体制等について明らかにすること。また、ダイヤ改正時における提案の示し方を明らかにすること。
9. 甲府運輸区の月大月営業統括センターとの兼務はどうなるのか明らかにすること。
10. 甲府運輸区内の業務を融合したことで企画業務を担える時間は具体的にどの程度創出できるのか明らかにすること。
11. 乗務業務が遅れ駅業務に間に合わない場合と、駅業務においてトラブルが発生し乗務業務に間に合わない場合の指揮命令系統はどうなるのか明らかにすること。
12. 駅出B番の車両検修社員以外の社員とは誰を指すのか明らかにすること。
13. 駅社員が運輸区業務を担える根拠と必要な教育を明らかにすること。
14. 社員説明にある駅社員が車内改札担当とあるが、異常時対応についての教育に関する中身を明らかにすること。また、特急全席指定化で車掌の一人乗務にしたが、特急車内改札をするにいたった根拠と目的は何か明らかにすること。
15. 新しい仕事の進め方と、世の中に役立つサービスとは何か、具体的に明らかにすること。